

板橋区区民検討会 報告書

板橋区

政策経営部政策企画課

目 次

1. 板橋区区民検討会の実施概要	1
(1) 目的	1
(2) 開催日時・会場・テーマ	1
(3) 参加者の募集方法と参加者数	2
(4) 検討手法	3
(5) 検討会の運営手法	4
(6) 検討会の成果	6
2. テーマごとの討議の結果	7
(1) テーマ1 子育て・教育	7
(2) テーマ2 健康・福祉	9
(3) テーマ3 自治力・コミュニティ	11
(4) テーマ4 産業・文化・にぎわい・魅力創造	13
(5) テーマ5 防災・防犯	15
(6) テーマ6 環境・まちづくり	17
(7) 平成 25 年度区民意識意向調査の結果の補完	19
3. 参加者の感想等	20
(1) 参加の動機について	20
(2) 参加の動機と無作為抽出について	21
(3) 区民検討会全体の評価について	21
(4) 今後の区政への参加意向について	22

1. 板橋区区民検討会の実施概要

(1) 目的

平成 28 年度を始期とする次期基本計画の策定にあたり、区の将来像の実現に向けた基本目標や施策分野の方向性などに関する意見を幅広く聞くため、板橋区区民検討会（以下「区民検討会」）を実施した。

(2) 開催日時・会場・テーマ

検討テーマは基本計画で掲げる 3 つの基本目標とし、参加したい日時・テーマの希望を聞き、参加者が関心のあるテーマの日に出席できるよう、年代、性別、居住地域等を勘案して開催日ごとの人数配分を行った。

開催日	検討テーマ
平成 26 年 5 月 31 日 (土)	基本目標Ⅰ のびやかに生きがいを持って暮らすまち (テーマ 1 : 子育て・教育 テーマ 2 : 健康・福祉)
平成 26 年 6 月 7 日 (土)	基本目標Ⅱ ところ豊かなふれあいと活力のあるまち (テーマ 3 : 自治力・コミュニティ テーマ 4 : 産業・文化・にぎわい・魅力創造)
平成 26 年 6 月 28 日 (土)	基本目標Ⅲ 安全で安心なうるおいのあるまち (テーマ 5 : 防災・防犯、テーマ 6 : 環境・まちづくり)

※開催時間はいずれも午後 1 時から午後 5 時 35 分まで。会場は区役所 9 階大会議室



《坂本区長の挨拶》



《討議の様子》

(3) 参加者の募集方法と参加者数

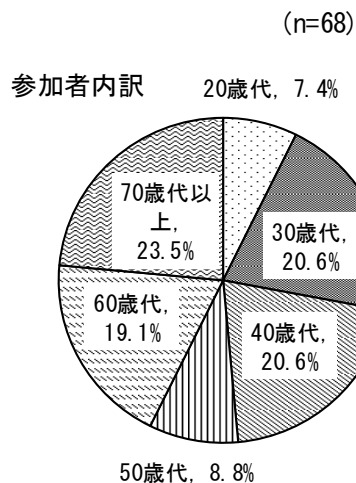
①募集方法

板橋区全域の在住者を対象として住民基本台帳から無作為に抽出した2,000人に募集案内を送付し、各回30人、計90人の応募があった。このうち、当日の欠席等を除き、第1回26人、第2回22人、第3回20人、計68人が参加した。

②参加者数

図表 1-1 区民検討会（全体）参加者等内訳

年代	応募			参加		
	性別		計	性別		計
	男	女		男	女	
20代	2	3	5	2	3	5
30代	6	11	17	5	9	14
40代	10	8	18	10	4	14
50代	4	8	12	3	3	6
60代	6	11	17	4	9	13
70代	14	7	21	10	6	16
合計	42	48	90	34	34	68



図表 1-2 区民検討会（第1回）参加者等内訳

年代	応募			参加		
	性別		計	性別		計
	男	女		男	女	
20代	0	1	1	0	1	1
30代	1	5	6	1	5	6
40代	4	2	6	4	2	6
50代	2	2	4	2	1	3
60代	2	4	6	1	4	5
70代	5	2	7	3	2	5
合計	14	16	30	11	15	26

図表 1-3 区民検討会（第2回）参加者等内訳

年代	応募			参加		
	性別		計	性別		計
	男	女		男	女	
20代	2	1	3	2	1	3
30代	3	5	8	2	4	6
40代	1	3	4	1	1	2
50代	1	3	4	1	2	3
60代	2	3	5	1	2	3
70代	4	2	6	3	2	5
合計	13	17	30	10	12	22

図表 1-4 区民検討会（第3回）参加者等内訳

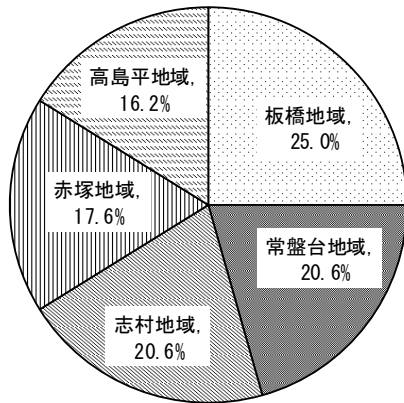
年代	応募			参加		
	性別		計	性別		計
	男	女		男	女	
20代	0	1	1	0	1	1
30代	2	1	3	2	0	2
40代	5	3	8	5	1	6
50代	1	3	4	0	0	0
60代	2	4	6	2	3	5
70代	5	3	8	4	2	6
合計	15	15	30	13	7	20

図表 1-5 区民検討会（第 1 回～第 3 回）参加者等の地域別内訳

地域	応募				参加			
	第 1 回	第 2 回	第 3 回	合計	第 1 回	第 2 回	第 3 回	合計
板橋地域	8	6	8	22	7	6	4	17
常盤台地域	5	8	5	18	4	6	4	14
志村地域	4	6	7	17	4	5	5	14
赤塚地域	7	6	5	18	5	4	3	12
高島平地域	6	4	5	15	6	1	4	11
合計	30	30	30	90	26	22	20	68

参加者内訳

(n=68)



(4) 検討手法

今回の検討手法は「プラーヌクスツェレ」（「計画細胞」の意。ドイツの社会学者ペーター・C・ディーネルによる考案）と呼ばれる手法であり、「意見の代表性・中立性」「区民参加の裾野の拡大」「主体的に成果を求める討議姿勢」「地域全体の視点に立った意見」を得られるといった特徴・効果がある。具体的には以下のとおりである。

- ①参加者は無作為抽出で選ばれた区民であることから、限られた特定の集団に属する人や専門家ではなく、ほとんどがテーマに関し直接の当事者ではない一般の区民であり、サイレントマジョリティと呼ばれる一般的区民の声なき声を抽出できる方法として極めて有効である。＜意見の代表性・中立性＞＜区民参加の裾野の拡大＞
- ②参加日数を土曜日の半日程度とすることで、参加者の負担感を減らし、時間的に余裕のない区民の参加を促すことができる。＜区民参加の裾野の拡大＞
- ③行政から討議の基礎となる情報（区民意識意向調査の結果等）を提供することにより、基礎知識がない人でも議論に公平に参加できる。＜区民参加の裾野の拡大＞
- ④有償の仕事※として責任を持って取り組み、しかも限られた時間内に必ず結論を出さなければならないという緊張感のもと、5人程度の小グループが全て同じ共通のテーマで討議し、その結果を発表しあうことで各グループの意見を参加者全員で共有する。その後、投票等により会議全体としての優先順位をつけることで、成果の取りまとめを行うことができる。＜主体的に成果を求める討議姿勢＞＜地域全体の視点に立った意見＞

※募集時に、参加報酬として1回4,000円の謝礼を支払う旨を伝えている

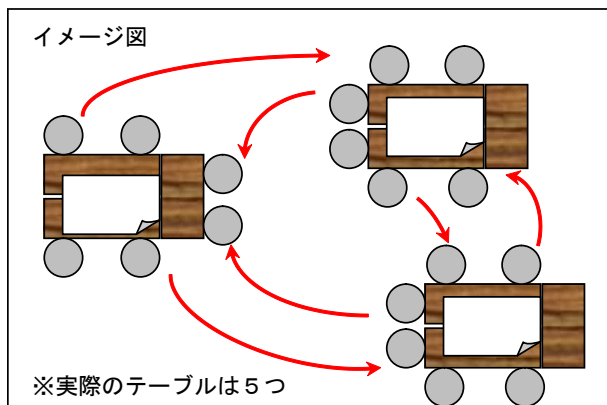
(5) 検討会の運営手法

① 討議の方法

討議は概ね以下の手順で行った。グループのメンバーは、下のイメージ図のようにテーマごとに入れ替えて討議した。

< 討議の基本的な手順 >

- 1 区からの情報提供（テーマに関する区の現状と課題）
- 2 5グループ（4～6名）に分かれて議論する
- 3 グループとしての意見・提案を3つ以内に集約し、合意形成する
- 4 各グループの代表者が意見・提案を発表する
- 5 全員で各グループの意見・提案に対し投票する（1人3票）



<< 討議の様子 >>

② 討議スケジュール（各回共通）

項目		時刻	時間	内容
全体ガイダンス		13:00～13:15	15分	・挨拶・主旨説明 ・本会議の検討対象と役割・位置付け、基本計画の位置付けと概要、手順・ルールの説明
情報提供		13:15～13:35	20分	・テーマ1、2に関する区の現状と課題について（区からの情報提供）
その日の1つ目のテーマ	討議	13:35～14:55	80分	・グループ討議
	発表・意見交換・投票	14:55～15:25	30分	・討議結果の発表、意見交換、投票
休憩		15:25～15:40	15分	・グループ入替
その日の2つ目のテーマ	討議	15:40～17:00	80分	・グループ討議
	発表・意見交換・投票	17:00～17:30	30分	・討議結果の発表、意見交換、投票
閉会		17:30～17:35	5分	・挨拶

③ 討議内容等

(ア) 各討議セッションでの具体的な検討内容

各討議セッションでは、各テーマに対して、「板橋区において今後取り組むべきこと」について、以下の3つの側面から意見の取りまとめを行った。

<p>■ 課題： 問題点の解決や長所を伸ばすことなど、取り組みの目的・目標となること 例) より多くの区民が生涯健康でいること</p> <p>■ 区民が取り組むこと： 課題に対し、区民として取り組めること、取り組むべきこと 例) 区民一人ひとりが日常の生活習慣において健康に配慮すること</p> <p>■ 区にサポートしてほしいこと： 区民の取り組みへの支援や、区民と連携して、行政として取り組むべきこと 例) 区民が健康に良い正しい生活習慣を身につけられるよう、情報提供や学習の機会の提供を行うこと</p>

(イ) 発表用シートの作成

各討議セッションの討議結果は、以下の発表用シートに取りまとめた。

図表 1-6 発表用シートのイメージ

グループNo.	メンバー氏名	
テーマ 1	「健康・福祉」の分野において「課題（目標とすべきこと）」は何か、それを実現するために「区民として何に取り組むか」、「区はどんなサポートをすべきか」を整理してください	
I	課題（目標とすべきこと）	投票欄
	課題を解決するために区民が取り組むこと	発表・投票の際には、あなたが指示する意見の投票欄にシールを貼ってください
	区にサポートしてほしいこと	
II	課題（目標とすべきこと）	投票
	課題を解決するために区民が取り組むこと	投票欄
	区にサポートしてほしいこと	
III	課題（目標とすべきこと）	投票欄
	課題を解決するために区民が取り組むこと	投票欄
	区にサポートしてほしいこと	
分野横断的な取り組みのアイデア		

メンバー全員のお名前をご記入ください。

メンバー全員意見を集約してI～IIIの3つの意見にまとめてください。

討議の過程で出た分野横断的意見を記録しておいてください

(6) 検討会の成果

区民検討会の成果を報告書に取りまとめ、長期基本計画審議会等において基本計画の施策や重点的取り組みを検討する際の参考資料として活用する。

また、投票結果については、区民全体のニーズを示す指標としては扱わず、あくまで区民検討会の総意として重視してほしい提案の優先順位を表す指標として扱う。



《各グループの発表の様子》



《投票の様子》

2. テーマごとの討議の結果

(1) テーマ1 子育て・教育

「地域ぐるみの子育て支援」の類型に属する事項が6項目と最も多く挙げられ、投票による支持率の合計は46.1%と半数近くに上った。『区民が取り組むこと』として、子育ての経験があるベテランママと初心者ママとの交流、経験の共有等の交流の機会に主体的に参画することなどが提案された。『区にサポートしてほしいこと』として、高齢者が保育に参加できる仕組みづくりや、交流の機会の提供、公園や学校を利用した交流場所の提供などが提案された。

次に、「家庭・学校・地域の連携による子どもの育成」の類型に属する事項が5項目挙げられ、支持率の合計は31.6%に上った。『区民が取り組むこと』として、区民が学習の場に参加したり、校外学習に観光ボランティアを活用したりといった、地域住民との交流を通しての教育の提供が提案された。また、町会やPTA活動をオープンにして情報発信をするなど、開かれた地域をめざすことも提案された。『区にサポートしてほしいこと』として、学校と地域をつなぐ情報と場所の提供、地域や学校の情報発信の支援が挙げられるとともに、学校と地域の特色を育んでいくことが提案された。

「待機児童ゼロ化へ」の課題（目標）は、テーマ1において得票数で1位の項目であった。『区民が取り組むこと』として、高齢者ボランティアの参加や情報発信などが、『区にサポートしてほしいこと』として、区の保育所の増設、受け入れ枠の拡充などが提案された。このほか、「小学生への交通ルールの周知」の課題（目標）が得票数で同率1位となった。

テーマ1 子育て・教育に関する提案のまとめ

テーマ1		課題を解決するために 区民が取り組むこと	区にサポートしてほしいこと	順位	投票 数	支持 率
類型	課題(目標)					
地域ぐるみの子育て支援	地域ぐるみで子育てをする地域社会の実現	○他人の子どもをしかる、注意する ○高齢者が保育の補助・サポートという形で協力する	○高齢者が補助員として保育に参加できる環境をつくる ○老人ホームと保育園を同じ施設に併設する	3位	7	9.2%
	安心して安全に子育てできる環境づくり	○地域イベントの活性化 ○大山商店街等におけるハロウィン、クリスマス等のイベント実施	○防犯カメラの設置（安全面）	3位	7	9.2%
	子どもを安心して産める/育てられる環境づくり	○ベテランママと初心者ママとの交流	○区内の企業への協力要請、交流場所の提供、保育所の充実、地域病院との連携	6位	6	7.9%
	地域ぐるみの子育て支援の充実	○子育て経験を語る（アドバイス） ○親の教育 ○昔ながらの遊びを教える ○良いこと・悪いことをその場で教える ○子育て経験者が両親不在時にサポートする	○学校の空き教室を老人ホームとして使う ○小学校・学童クラブ・老人ホームの一体化	7位	5	6.6%
	地域ぐるみの子育て支援の充実	○地域のおとしよりと子どもがふれあえる時間・場所をたくさん育む	○場所の提供（広い公園等）	10位	4	5.3%
	地域ぐるみの子育て支援	○町会活動への参加 ○子育て世代に優しく協力的にする ○おやじの会への参加	○母親の働ける企業の支援 ○病児保育の充実 ○短時間の仕事の仲介 ○世代間を取りもつ制度の施設 ○有閑シニアと子育て世代が出会える場づくり	10位	4	5.3%
「地域ぐるみの子育て支援」に関する提案 合計					33	43.5%

テーマ1		課題を解決するために 区民が取り組むこと	区にサポートしてほしいこと	順位	投票 数	支持 率
類型	課題(目標)					
家庭・ 学校・ 地域の 連携に よる子 どもの 育成	小学生への交通 ルールの周知	○子どもに携帯電話を持たせ ない ○家庭や学校でも良いこと・ 悪いことを教える	○交通ルールの法知識を教育す る場をつくる ○歩道橋・道路等の整備	1位	8	10.5%
	生きる力の育成	○区民がそれぞれ得意な分野 を教える	○カリキュラムに、生きるため の授業を設ける ○社会のルールを守り、他人に 迷惑をかけない教育	3位	7	9.2%
	家庭・学校・地域 の連携による教 育力の向上	○学校の校外学習の際に観光 ボランティアを有効活用す る ○無料塾の開催	○学校と地域のつながり、情報 と場所提供	7位	5	6.6%
	地域ぐるみで小 中学校を盛り立 てる	○町会、PTA活動をオープ ンにする ○おやじの会への参加 ○地域・住民が学校活動に関 心を持つ ○学校と保護者の交流の場を 持つ、増やす ○積極的に参加する	○町会やPTA活動の情報発信 を行政がサポートするシステ ムづくり ○学校独自のカラーを地域でつ くる	12位	3	3.9%
	健全な子どもの 育成	○学校と保護者の交流の場を 持つ、増やす ○お互いに声をかけあう ○いじめ、不登校にすぐ気づ きあえる社会を実現する ○困った時に頼れるサポート ○荒んだ地域にしない ○母親の心身の健康維持	○学校や地域の活動などを公開 ○情報を誰でも知ることができ るようオープンにする ○親の経済力にかかわらず十分 な教育を受けられる社会を実 現する	15位	1	1.3%
「家庭・学校・地域の連携による子どもの育成」に関する提案 合計					24	31.6%
待機児 童ゼロ 化	待機児童ゼロ化 へ	○ボランティア（高齢者）の 参加	○集合住宅に子育て世代と高齢 者を住ませる ○スマート保育所は駅の近くにつ くる	1位	8	10.5%
	仕事と子育てが 両立できる環境 (待機児童ゼロ)	○困っている状態を区民から 発信する	○保育園を増やす ○延長保育の枠を増やす ○保育に係る人員を確保する	12位	3	3.9%
「待機児童ゼロ化」に関する提案 合計					11	14.5%
いじめ防止		○見て見ぬふりをしない ○お互いに声をかけあう ○自分の考えを持つ、伝える ○本などを読み、自分の言葉 で話ができるようにする ○痛みのわかる、他人を思い やれる人間を育てる ○おとなしい人にも気を配る	○第三者の立ち入り（人材を入 れる）→シルバーの方など	7位	5	6.6%
子どもの健康づくり		○学校でのスポーツボランテ ィアへの参加	○予防接種の無料化、休日夜間 医療の充実	15位	1	1.3%
(その他の取り組みのアイ ディア)			○親が病気でも子どもを預けら れる所をつくってほしい	14位	2	2.6%

(2) テーマ2 健康・福祉

「区民自身による健康づくり支援」の類型で4項目挙げられ、投票による支持率の合計は34.2%に上った。『区民が取り組むこと』として、区などの公的機関の検診への積極的参加、健康づくりの施設の利用などが提案された。『区にサポートしてほしいこと』として、無料検診の対象年齢を拡げる、検診期間・時間を拡大、生活習慣病予防の勉強会の開催、他区の施設利用をサポートすることなどが提案された。

次に、「生活保護者の自立支援」の類型で2項目挙げられ、投票による支持率の合計は23.7%に上った。『区民が取り組むこと』として生活保護者の労働意欲を高めるようまわりがサポートする、働ける人は働くなどが提案された。『区にサポートしてほしいこと』として、職業訓練の費用と場の提供、生活保護の受給に係る審査の厳格化、機会を設けてセミナーに参加することを必須とすることなどが挙げられた。なお、「扶助費削減」についての支持率は、「健康づくりへの意識向上」と同率で1位となっている。

さらに、「食育の推進」の類型で3項目挙げられ、投票による支持率の合計は13.2%に上った。『区民が取り組むこと』としては、食育のために畑で実際に農作物を作る、油や糖分等を抑えた料理の勉強会、栄養バランスに配慮した食生活などが提案された。『区にサポートしてほしいこと』として、食育の実習畑の提供についての地権者との交渉等、学校の先生のアレルギーに関する知識の向上、保護者会等で食育の知識講座をすることなどが提案された。

テーマ2 健康・福祉に関する提案のまとめ

テーマ2		課題を解決するために 区民が取り組むこと	区にサポートしてほしいこと	順位	投票 数	支持 率
類型	課題(目標)					
区民自 身による健康 づくり 支援	健康づくりへの意 識の向上	○区などの公的機関の検診へ の積極的参加	○禁煙サポートに補助を出す ○無料検診の対象年齢を拡げる ○検診期間・時間を拡大(平日 夜間や土日など)	1位	10	13.2%
	健康づくりへの取 り組みの強化	○健康診断の受診による早期 発見 ○誘い合って健康診断に参加 する	○生活習慣病予防の勉強会の開 催 ○無料健康相談・診断の回数を 増やす	5位	7	9.2%
	○からだづくりの 環境整備 ○健康づくりへの 取り組みの強化	○自分自身で健康に気をつ け、なるべく病院にかから ない ○健康づくりの施設の利用	○近隣区との情報共有化(例 区報などに載せる) ○他区の施設利用をサポート ○おとしよりのコミュニティの 場、サークル等の支援 ○受動喫煙をさせない環境づく り ○土地の特徴を生かした遊歩道 でウォーキング	6位	6	7.9%
	区民一人ひとりの 健康づくりへの取 り組み	○間違った情報を信じず正し い情報を得る ○しっかりと検診を受ける	○現在有料の検診の無料化 ○からだづくりの講座とスポー ツの推進	10位	3	3.9%
「区民自身による健康づくり支援」に関する提案 合計					26	34.2%
生活保 護者の 自立支 援	扶助費削減	○生活保護者の労働意欲を高 めるよう周りがサポート	○職業訓練の費用と場の提供	1位	10	13.2%
	生活保護者への自 立支援	○働ける人は働いてもら う ○地域コミュニティの活性化	○審査の厳格化 ○機会を設けてセミナーに参加 することを必須にする	3位	8	10.5%
「生活保護者の自立支援」に関する提案 合計					18	23.7%

テーマ2		課題を解決するために 区民が取り組むこと	区にサポートしてほしいこと	順位	投票 数	支持 率
類型	課題(目標)					
食育の 推進	食育の推進	○料理講座（他国の味や、高 齢者の方のおふくろの味） ○知識を自分から進んで得る ○朝食をきちんと作って食べ る	○学校で、子どもと一緒に野菜 を作り、それを使った食事を作 る ○先生達のアレルギーの知識向 上 ○保護者会等で食育の知識講座 をする ○毎日違う給食を提供する	6位	6	7.9%
	食育の充実	○食育のために畑で実際に農 作物を作る ○油や糖分等を抑えた料理の 勉強会を開催	○添加物と健康との関係の専門 家を招いての勉強会 ○食育の実習畑の提供につい ての地権者との交渉等	10位	3	3.9%
	食育の実施	○栄養バランスに配慮した食 生活	○食育に係る映画等の勉強会を 定期的実施 ○料理教室参加への補助	15位	1	1.3%
「食育の推進」に関する提案 合計					10	13.2%
文化・教養の施設の充実		○リタイアボランティアを増 やす（キャリア人の活用） ○イベント等に参加すること での医療費削減	○高齢者や子育て世代だけでな く、中間世代への施設や設備 の充実 ○学びの場をつくる ○わかりやすい情報提供	3位	8	10.5%
誰もが公平に受けられる福 祉を		○持っている人は遠慮すべき では？ ○地域コミュニティの活性化	○高齢者ばかりの福祉の偏りを 改善してほしい ○所得資産で規制してはどうか ○病院にかかる前に相談センタ ーみたいな所があると良い	8位	5	6.6%
高齢者 福祉	認知症の地域支援 の充実	○認知症の方への声かけ ○認知症についての関心を持 つ	○パトロールの強化 ○一時預かりの場を設ける ○勉強会の開催	13位	2	2.6%
	高齢者が安心して 暮らせるまちづく り	○お祭りやイベントに参加し やすい環境づくり （子どもに祭りの仕方など をおとしよりに教えてもら う）	○地域のお祭り情報、特に小学 校へ積極的な参加の呼びかけ ○専門家を招いての情報と場所 の提供	13位	2	2.6%
「高齢者福祉」に関する提案 合計					4	5.3%
医療の充実		○高齢者は、外に出ることによ って心身健康を維持	○病院病床数の確保（救急の際、 断られた）→病院間のコミュ ニケーションを！！ ○小児科医、産婦人科医数の確 保	10位	3	3.9%
障がい者の地域生活への就 労の促進		○健常者と同じように接する ○間違った情報を信じず正し い情報を得る ○障がい者学校などで障がい 者の方が作ったパンなどを 児童館等に売りに行く	○場所提供	16位	0	0.0%
（その他の取り組みのアイ ディア）			○Q熱等の難病指定を板橋区か ら発信	9位	4	5.3%

(3) テーマ3 自治力・コミュニティ

「安心・安全」の類型で4項目挙げられ、投票による支持率の合計は21.2%に上った。『区民が取り組むこと』として、ボランティアによる町会パトロールの実施、区民・行政・企業が一体となったあいさつ運動の実施、防火・防災の知識向上のために講習や防災訓練へ参加することなどが提案された。『区にサポートしてほしいこと』として、街灯を増やすことや、あいさつ運動の推進に係る企業や商店への働きかけ、講習活動の啓発などが提案された。

次に「区の情報発信」の類型で2項目、「区民の交流」の類型で4項目挙げられ、支持率の合計はそれぞれ19.7%に上った。「区の情報発信」では、『区民が取り組むこと』として、ホームページや区報など区の発信しているものを見る、企業や地域が施設見学イベントを企画、発信していくことなどが提案された。『区にサポートしてほしいこと』として、区の観光キャラクターである「りんりんちゃん」の積極的な活用、区のサポート窓口の明確化、ホームページや区報の魅力向上などが提案された。

「区民の交流」の類型では、『区民が取り組むこと』として、地域の人間に声をかける、学校行事と地域活動のコラボなどが提案された。『区にサポートしてほしいこと』として、ニーズに合った情報発信、区民の各世代が交流できる場所や機会の提供などが提案された。

なお、「緑の環境を保全する」として、区民が板橋産の農産物を積極的に利用し、区が地産地消を推進することが提案され、支持率は「区の情報発信力向上」の課題と同率の1位となった。

テーマ3 自治力・コミュニティに関する提案まとめ

テーマ3		課題を解決するために 区民が取り組むこと	区にサポートしてほしいこと	順位	投票 数	支持 率
類型	課題(目標)					
安心・安全	治安を保つ	○町内会パトロール(ボランティアなど) ※特に夜間	○街灯を増やす ○警察との関わり ○夜のパトロールの強化	3位	6	9.1%
	安心・安全な明るい“街”づくり	○区民、行政、企業が一体となったあいさつ運動の実施	○行政機関は企業、商店に働きかける	3位	6	9.1%
	防火、防災の知識向上	○講習、防災訓練への参加	○講習活動の啓発	11位	2	3.0%
	公園で安全に子どもを遊ばせる	○ゴミなどの持ち帰りを声かけする	○看板の設置 ○喫煙ブースの設置(安全面も考える)	14位	0	0.0%
「安心・安全」に関する提案 合計					14	21.2%
区の情報発信	区の情報発信力向上(地味)	○コミュニティ参加意識向上 ○ホームページ、区報など区の発信しているものを見る ○企業、地域が施設見学、イベントを企画、発信していく ○地域イベント、商店街はポスター、チラシなど強化	○「りんりんちゃん」を徹底的に使う(マスコットをアピール。地域遠征、イベント参加など) ○区のサポート窓口の明確化(お得感のあるイベントの手助け) ○ホームページ、区報を魅力あるものにする(便利・楽しめる)	1位	10	15.2%
	観光面、公共施設を利用しやすくする	○PR活動への協力(例:イラストを公募で集めて掲示する)	○魅力的なPR、展示等	10位	3	4.5%
「区の情報発信」に関する提案 合計					13	19.7%

テーマ3		課題を解決するために 区民が取り組むこと	区にサポートしてほしいこと	順位	投票 数	支持 率
類型	課題(目標)					
区民の 交流	全世代の区民が 集える地域活動	○若い人が積極的にコミュニ ティに参加する(強制もあ り) ○学校行事と地域活動のコラ ボレーション	○ニーズに合った情報配信 ○区民が集えるスペースの創出 ○区の行事をポイント制にする ○特定世代に向けたイベントや 施設だけでなく、各世代が交 流できる場所や機会の提供	3位	6	9.1%
	声を掛け合い、支 えあうような地 域社会	○頑張って、住民、地域の人間 に声をかける	○相談窓口をわかりやすくして ほしい、利用しやすくしてほ しい	8位	4	6.1%
	高齢者、女性のコ ミュニケーション の施設の充実	○近隣住民とのコミュニケー ションの充実	○積極的な情報提供を推進して ほしい	11位	2	3.0%
	外国人(板橋区民 外)との交流	○住民の意識改革 ○楽しいイベントの企画	○日本語学校、ボランティア、 外国人主催イベントのサポー ト	13位	1	1.5%
「区民の交流」に関する提案 合計					13	19.7%
緑の環境を保全する		○板橋産の農産物を積極的に 利用する	○地産地消を推進する	1位	10	15.2%
孤立者 への支 援	一人ぐらしの方 のサポート	○関わりを増やす ○地域のイベントなどへの参 加	○緊急時に「119」に連絡でき るような物の設置(手が届く所 にボタンなど設置) ○ふれあい館の充実	3位	6	9.1%
	一人住まい、身寄 りのない人々(全 年齢対象、外国人 も)との接点を増 やす	○あいさつを行う ○町会、自治会の行事を魅力的 なものにする	○あいさつをしよう運動 ○該当者の把握 ○老人クラブ等サークル交流の 場の提供、発信	14位	0	0.0%
「孤立者への支援」に関する提案 合計					6	9.1%
少子化を防ぐ(子育て世代 の流出防止)		○学校ごとの特色を知る ○区で行われている子育て支 援について情報を確認する	○親が子どもを板橋に呼ぶと補 助金が支給される ○杉並のような学校での塾運営 ○公園設備を充実させる ○教育支援を充実させ、それ に関わる情報をネットやチラ シを通じて共有させる (28年度からの計画の目標 では間に合わないので、5年 後、10年後を見据える)	3位	6	9.1%
他区より板橋区に転居した ときの区との関わり方		○あいさつから始まる声かけ を行う	転居時に区のサービスを本では なく、口頭にて教えてほしい	8位	4	6.1%

(4) テーマ4 産業・文化・にぎわい・魅力創造

「板橋の魅力発信」の類型で4項目挙げられ、投票による支持率の合計は31.8%に上った。中でも、「板橋ブランドの強化」に対する支持率が高く、テーマ内で1位の得票数となった。『区民が取り組むこと』として、板橋ブランドを発信するイベントを提案することなどが提案された。『区にサポートしてほしいこと』として、区内外での企画展などのサポートやアピール強化を行うことなどが提案された。

次いで、「観光資源の活用」の類型で4項目挙げられ、支持率は合計で30.0%となった。『区民が取り組むこと』として、小中学校の運動会において区の伝統芸能を取り入れる、観光都市としての宣伝、観光大使を区民が行うことなどが提案された。『区にサポートしてほしいこと』として、伝統芸能の演技指導者へのサポート、アンテナショップの設置、コミュニティバスの観光バス化などが提案された。

また、「オリンピック・パラリンピックへの対応」として、観光客のサポートや障がい者スポーツへの関心を高めるためのイメージ戦略などが提案された。

テーマ4 産業・文化・にぎわい・魅力創造に関する提案まとめ

テーマ4		課題を解決するために区民が取り組むこと	区にサポートしてほしいこと	順位	投票数	支持率
類型	課題(目標)					
板橋の魅力発信	板橋ブランドの強化	○板橋ブランドのイベント提案(例:板橋百選など)	○アピール強化 ○板橋商店街マチコンの実施	1位	10	15.9%
	カルチャータウン板橋の創出	○文化施設に行く ○美術、歌、ダンス、お芝居など発表の場をつくる	○アクセスを良くする(美術館、郷土資料館、東京大仏など) ○公募する ○区内外への企画展 ○PR	3位	6	9.5%
	地域の魅力のアピール	○PRの推進(魅力をアピールするイベントを企画する)	○イベントサポート	11位	2	3.2%
	人が集まるまちづくり	○企業、商店街、工場が自社ブランド、商品を世界に向けてPR	○企業、商店街、工場が、できれば日持ちする名物・名菓、製本、レンズなど共同開発 ○工場、商店街、ツアー、スタンプリリーなど、ITABASHIブランド(WE B販売)の普及	11位	2	3.2%
「板橋の魅力発信」に関する提案 合計					20	31.8%
観光資源の活用	板橋区に残る伝統芸能の継承	○小中学校の運動会で取り入れる	○演技指導者へのサポート	3位	6	9.5%
	都市観光の振興	○宣伝、観光大使を区民がする	○アンテナショップの設置(板橋区民を優先的に雇用) ○「りんりんちゃん」押し出し	5位	5	7.9%
	文化、芸能のPR	○板橋の文化、芸能を知る	○文化財がある場所をバス(無料)で回れるようにしてほしい	7位	4	6.3%
	区内の既存観光資源の活用	○資料や知識の提供(昔の写真、子どもの頃の地域話など)	○りんりん号をシャトルバスにする(観光バス化)(例:郷土資料館→区立美術館→東京大仏) ○郷土資料館のリニューアル(施設名の変更など)	7位	4	6.3%
「観光資源の活用」に関する提案 合計					19	30.0%

テーマ4		課題を解決するために 区民が取り組むこと	区にサポートしてほしいこと	順位	投票 数	支持 率
類型	課題(目標)					
オリン ピック・パ ラリン ピック への対 応	パラリンピックに特化した障がい者スポーツへの支援	○障がい者スポーツへ 関心、意識を高める ○実際に体験し観戦す る！！	○区の障がい者スポーツをパラ リンピックにつなげ、イメー ジ戦略を行う ○パラリンピック大使を任命す る ○区報の一面にする	2位	8	12.7%
	東京オリンピック・パラ リンピックでの来訪者対 応	○観光客をサポートす る	○板橋区のホットスポットを提 供する	13位	1	1.6%
「オリンピック・パラリンピックへの対応」に関する提案 合計					9	14.3%
産業振 興・商 店街活 性化	明るい商店街の推進	○シャッター街を明る く(ポスター・絵の 飾付、子どもたちや 板橋在住アーティスト の作品など)	○空き店舗への誘致 ○地元農家と連携したマルシェ ○LED電灯の普及 ○空き店舗の活用等 ○家賃補助(大学と連携) ○実験店舗の開店	7位	4	6.3%
	○中小企業を守る！！ (零細企業) ○シャッター商店街の活 用	○フリーマーケット的 なアンテナショップ ○地元の物を買う	○商店街への働き掛け ○「りんりんちゃん」の活用 ○中小補助金制度(税金)の活用 ○継続店の優遇	7位	4	6.3%
	商店街の閉店スペースの 有効活用	○跡地で休憩所を運営 (ボランティアなど)	○区がスペースを借りて、区内農 業の紹介所や福祉施設の物品 販売への支援	13位	1	1.6%
「産業振興・商店街活性化」に関する提案 合計					9	14.2%
図書館の新しい創造		○図書館で情報を得る ○コミュニケーション の場として活用でき るようにする	○「行きたくなる図書館」の実現 ○コミュニケーションスペース をつくる ○コーヒーを飲めるスペースが あり、本が読める	5位	5	7.9%
空農地の利用		○農業経験	○板橋産ブランドのPR ○土地所有者への利用の働き掛 け	13位	1	1.6%

(5) テーマ5 防災・防犯

「区民・行政の協力による防犯」の類型で5項目挙げられ、投票による支持率の合計は50.9%と半数を超えた。中でも、「防犯により住宅街の安全を守る」に対する支持率が高く、テーマ内で1位となった。

『区民が取り組むこと』としては、パトロールの強化や近隣世帯との意思疎通、防災訓練や防災講座等の区のイベントへの積極的な参加、区民生活に関する有益な情報を区に提供することなどが提案された。『区にサポートしてほしいこと』として、街路灯や防犯カメラの設置による住宅街の安全の確保や区独自の条例・規則における罰則強化、多様な媒体による区民への有益な情報の提供などが提案された。

次に、「区民の協力による防災」の類型で3項目挙げられ、支持率の合計は23.7%に上った。『区民が取り組むこと』としては、近所を知るための楽しい集まりや機会を設けること、個人住宅・集合住宅が各々の組織をつくることが提案された。『区にサポートしてほしいこと』として、区民が集まれる場所の提供や各々の組織をつなぐことなどが提案された。

テーマ5 防災・防犯に関する提案まとめ

テーマ5		課題を解決するために 区民が取り組むこと	区にサポートしてほしいこと	順位	投票 数	支持 率
類型	課題(目標)					
区民・ 行政の 協力に よる防 犯	防犯により住宅街の安全 を守る	○パトロールの強化 ○個々の意識と近隣と の積極的な交流	○街路灯や防犯カメラの設置	1位	11	18.6%
	犯罪件数の減少	○近隣世帯との意思疎 通	○区独自の条例・規則による罰則 強化	3位	7	11.9%
	一人ひとりの防犯意識の 向上	○区のイベントへの積 極的な参加 (例えば防災訓練、 防災講座)	○なるべく詳細な情報提供	4位	5	8.5%
	空家対策	○パトロールの強化・ 個々の意識高揚 ○近隣とのコミュニケ ーション	○家主への指導・連絡 ○行政が実態を把握する	5位	4	6.8%
	情報公開条例によらな い、軽微な情報(1. 生 活安全情報 2. 区政情 報)の提供	○区民生活に関する有 益な情報(身近に起 きた事件、社会福祉 情報)を行政に提供 する	○区民に有益な情報は様々な媒 体を用いて提供する	8位	3	5.1%
「区民・行政の協力による防犯」に関する提案 合計					30	50.9%
区民の 協力に よる防 災	ご近所の底力の活用	○楽しい集まり→近所 を知る→防災へ	○場所の提供	2位	10	16.9%
	災害に対する組織、個人 住宅、集合住宅をつなぐ	○各々の組織の形成	○情報集約して各組織をつなぐ	5位	4	6.8%
	災害被害の縮減	○住民相互の協力	○都だけでなく、区としても食料 の備蓄等を行ってほしい	13位	0	0.0%
「区民の協力による防災」に関する提案 合計					14	23.7%

テーマ5		課題を解決するために 区民が取り組むこと	区にサポートしてほしいこと	順位	投票 数	支持 率
類型	課題(目標)					
防災意 識の高 揚	治水対策の推進（ゲリラ豪雨等）	○区内地域で起こりうる災害の範囲、種類などの知識を持つ	○雨水流出抑制施設の設置 ○区からの情報提供	5位	4	6.8%
	減災対策	○日頃からの危険箇所の注意・確認	○災害時のハンドブックを作る（病院マップや英語版なども）	8位	3	5.1%
	災害状況の情報共有	○情報共有のための準備訓練	○区内のFM放送を（防災無線が聞きとれない）	10位	2	3.4%
	減災対策	○自宅付近の避難場所の確認 ○防災訓練（テントを張り一泊体験）	○災害時、区民全員避難できるスペースを確保	10位	2	3.4%
	減災対策	○意識を高める	○区が年金のように積み立てをする（希望者のみ、防災基金）	12位	1	1.7%
「防災意識の高揚」に関する提案 合計					12	20.3%

(6) テーマ6 環境・まちづくり

「自転車の安全な利用・放置自転車対策」の類型で3項目挙げられ、投票による支持率の合計は25.0%に上った。中でも、「自転車利用のルール」に対する支持率が高く、テーマ内で1位（同率）となった。

『区民が取り組むこと』としては、物を大切にすることを放置自転車対策につなげることや、自転車乗車時に携帯電話・スマホ等を操作しながらの運転による自転車事故の防止などが提案された。『区にサポートしてほしいこと』として、子どもの頃からの意識教育及び講習による自転車利用ルールの定着、駐輪場の増設による放置自転車対策、自転車専用レーンの設置による自転車事故の防止などが提案された。

次に、「公園整備」と「街区清掃」の類型で2項目ずつ挙げられ、それぞれの支持率が13.3%であった。

『区民が取り組むこと』としては、公園の清掃作業へ取り組むこと、個人の意識の向上や近所との話し合いによるゴミの落ちていないまちづくりなどが提案された。『区にサポートしてほしいこと』として、公園の統廃合によるニーズに合った公園の再整備やごみ回収についての調査・指導などが提案された。

また、「障害物、看板、歩道にはみ出た樹木への対処」に対する支持率が高く、テーマ内で1位（同率）となった。『区民が取り組むこと』としては、現状確認や問題意識を持つことが提案され、『区にサポートしてほしいこと』としては、すぐやる課を設置するという提案がされた。

その他に、「障がい者・高齢者に対する交通機関の見直しや施設のバリアフリー化を推進」「排気ガス問題への対応」「ゴミ分別」などが提案された。

テーマ6 環境・まちづくりに関する提案まとめ

テーマ6		課題を解決するために区民が取り組むこと	区にサポートしてほしいこと	順位	投票数	支持率
類型	課題(目標)					
自転車の安全な利用・放置自転車対策	自転車利用のルールの啓発等	○物を大切にすることを放置自転車対策につなげる	○子どもの頃からの意識教育・講習 ○利用しやすい施設（管理された駐輪場、通路）	1位	7	11.7%
	放置自転車を少なくする	○商店街の協力	○駐輪場の増設、バス路線を多く	5位	4	6.7%
	自転車事故の防止	○自転車を運転しながらの携帯・スマホをやらぬ	○自転車専用レーンの設置、自転車共済の復活	5位	4	6.7%
「自転車の安全な利用・放置自転車対策」に関する提案 合計					15	25.0%
公園整備	空地（空家）をミニ公園にする（集まる場所にする）	○公園の整備・清掃作業	○買い取り	5位	4	6.7%
	意図のある公園整備	○利用者を増やすこと →安全の形成	○小さな公園でニーズに合っていないものの廃止 ○時代に合わせた整備（再評価）	5位	4	6.7%
「公園整備」に関する提案 合計					8	13.3%
街区清掃	ゴミの落ちていないまちの実現	○個人の意識を高める、近所との話し合い	○ゴミの中の調査・指導、本人（返品）	3位	5	8.3%
	他府県から来た人が良いなと思うまちの実現	○PR	○お花見シーズン前に、職員がゴミ拾い	9位	3	5.0%
「街区清掃」に関する提案 合計					8	13.3%
障害物、看板、歩道にはみ出た樹木への対処	○危険箇所の現状確認、問題意識を持つ	○すぐやる課を設置する		1位	7	11.7%

テーマ6		課題を解決するために 区民が取り組むこと	区にサポートしてほしいこと	順位	投票 数	支持 率
類型	課題(目標)					
障がい者、高齢者に対する交通機関 の見直し、施設のバリアフリーを推 進		○確実に高齢化社会に なるので、思いやりの 心を持ち、社会に貢献 する	○区民全体に認識してもら う取り組みを行ってほ しい	3位	5	8.3%
排気ガス問題への対処		○なぜ排気ガス問題が 発生するか考える	○排気ガス測定などを して、改善対策を実 行し、住みよいま ちづくりをしてほ しい	9位	3	5.0%
ゴミ分 別	ゴミの分別	○リサイクル意識の向 上	○ゴミ袋の透明化 ○他区からの有料受 入れ →施設の拡充費への 充当	11位	1	1.7%
	3Rの推進	○ゴミの減量化	○リサイクル情報、 収集拠点の周知	11位	1	1.7%
「ゴミ分別」に関する提案 合計					2	3.3%
区の施設にPCステーション、 トイレスポットの検索		○ボランティア	○場所の提供	11位	1	1.7%

(7) 平成 25 年度区民意識意向調査の結果の補完

平成 25 年度区民意識意向調査では、今後区が重点的に力を入れるべきだと思う分野を重要だと思う順に 5 つまで問う設問を設けた。その回答の上位 5 つについて、区民検討会の提案事項と組み合わせると以下のとおりである。

なお、区民意識意向調査では、重要だと思う項目のみ選択することとなっており、具体的な施策や取り組みについては設問としていない。

順位	意識意向調査で重要とされた項目	区民検討会での意見	
		区民ができること	区がサポート
第 1 位	高齢者介護 (40.2%)	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症の地域支援の充実のため、認知症の方への声かけ、認知症についての関心を持つ ○高齢者が安心して暮らせるまちづくりのための環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○パトロールの強化 ○一時預かりの場を設ける ○勉強会の開催
第 2 位	防災 (38.8%)	<ul style="list-style-type: none"> ○近所を知るための楽しい集まりや機会を設けること ○災害に対する組織、個人住宅、集合住宅をつくること ○災害被害の縮減のために住民相互の協力 	<ul style="list-style-type: none"> ○区民が集まる場所の提供 ○情報集約により各々の組織をつなぐこと
第 3 位	子育て (35.7%)	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア（高齢者）の参加による待機児童ゼロ化 ○他人の子どもをしかる、注意する 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者が補助員として保育に参加できる環境整備 ○スマート保育所は駅の近くにつくる
第 4 位	防犯 (34.2%)	<ul style="list-style-type: none"> ○パトロールの強化 ○個々の意識と近隣との積極的な交流 ○区民生活に関する有益な情報を行政に提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○街路灯や防犯カメラの設置 ○区独自の条例・規則による罰則強化 ○様々な媒体を用いた区民への情報提供
第 5 位	学校教育 (32.3%)	<ul style="list-style-type: none"> ○生きる力を育成するため、区民が得意な分野を教える ○無料塾の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○カリキュラムに、生きる力の授業を設ける ○学校と地域のつながり、情報と場所の提供

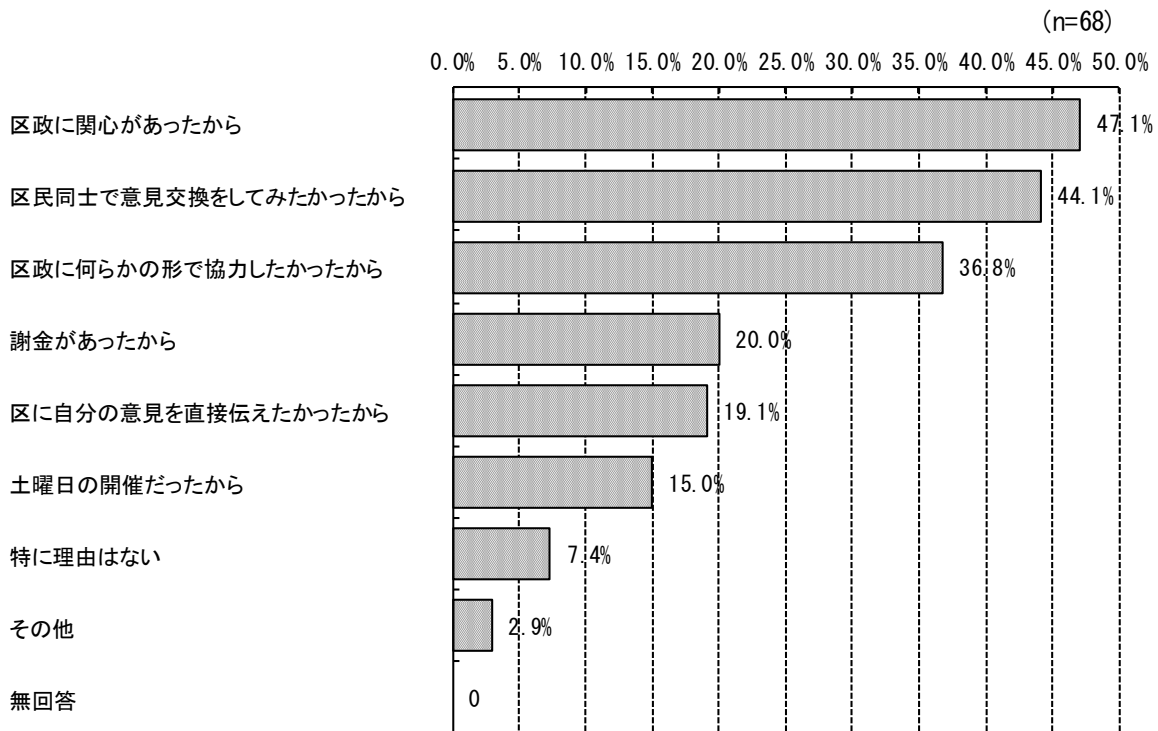
3. 参加者の感想等

区民検討会参加者に対して、今後の区民参加施策の参考とするため、無記名でのアンケートを実施した。その中から、「参加の動機」「参加の動機と無作為抽出」「区民検討会全体の評価」「今後の区政への参加意向」の4項目を抜粋し、掲載する。

(1) 参加の動機について

区民検討会への参加の動機について、「区政に関心があったから」の割合が最も高く47.1%となっている。次いで、「区民同士で意見交換を試みたかったから」(44.1%)、「区政に何らかの形で協力したかったから」(36.8%)となっている。

図表3-1 参加の動機について



注) 複数回答

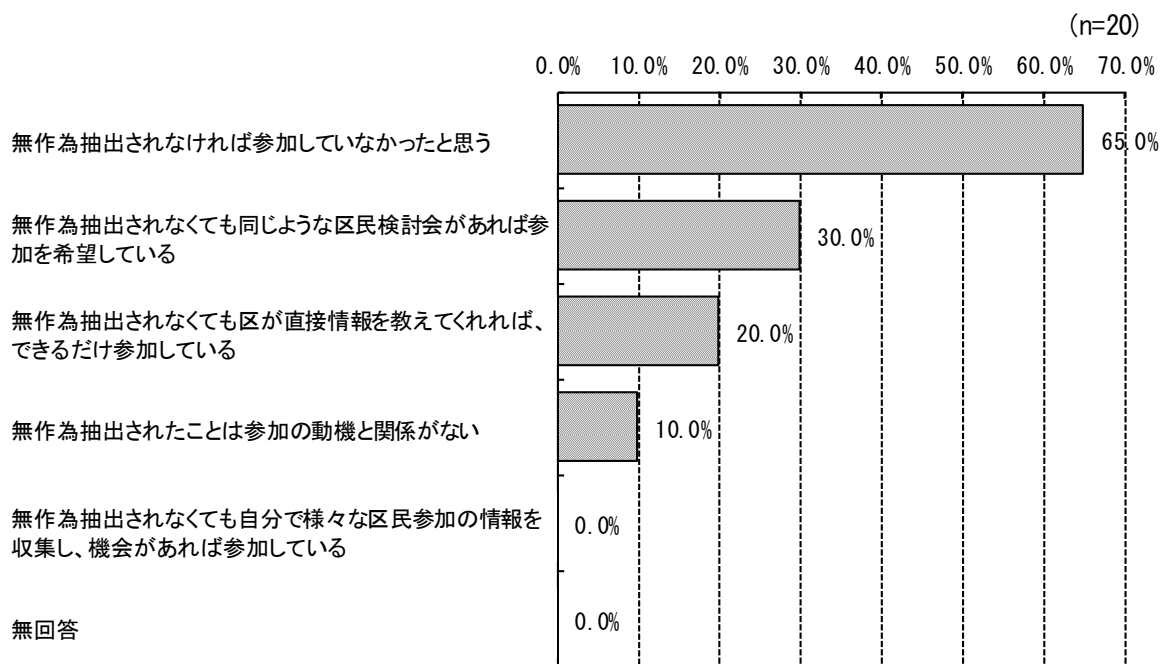
注) 「謝金があったから」「土曜日の開催だったから」は n=20

(2) 参加の動機と無作為抽出について

区民検討会への参加についてあたり、「無作為抽出されなければ参加していなかったと思う」の割合が最も高く 65.0%となっている。次いで、「無作為抽出されなくても同じような区民検討会があれば参加を希望している」(30.0%)、「無作為抽出されなくても区が直接情報を教えてくれれば、できるだけ参加している」(20.0%)となっている。

なお、本設問は6月28日開催分でアンケート項目を追加して実施した。

図表3-2 参加者の動機：無作為抽出されたことについて

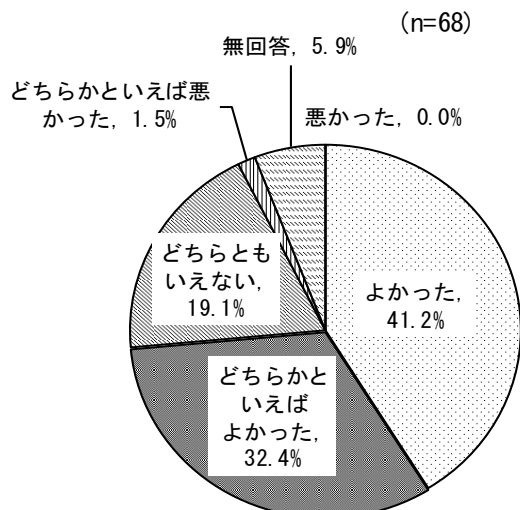


注) 複数回答

(3) 区民検討会全体の評価について

区民検討会全体の評価について、「よかった」の割合が最も高く 41.2%となっている。次いで、「どちらかといえばよかった」(32.4%)となっており、肯定的な回答が7割を超えている。

図表3-3 区民検討会全体の評価について

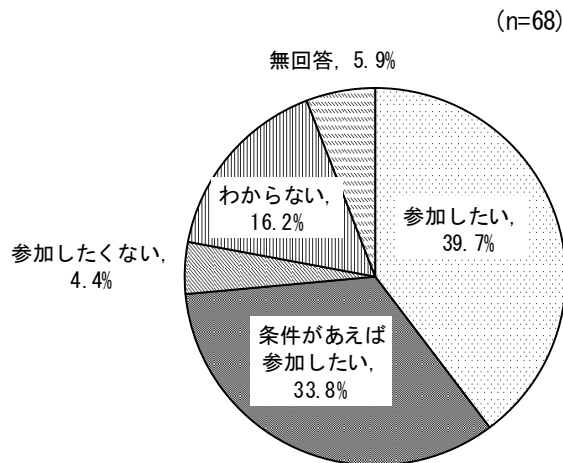


(4) 今後の区政への参加意向について

今後の区政への参加意向について、「参加したい」の割合が最も高く 39.7%、次いで「条件があえば参加したい」(33.8%) となっており、参加したくない(4.4%) を大きく上回っている。

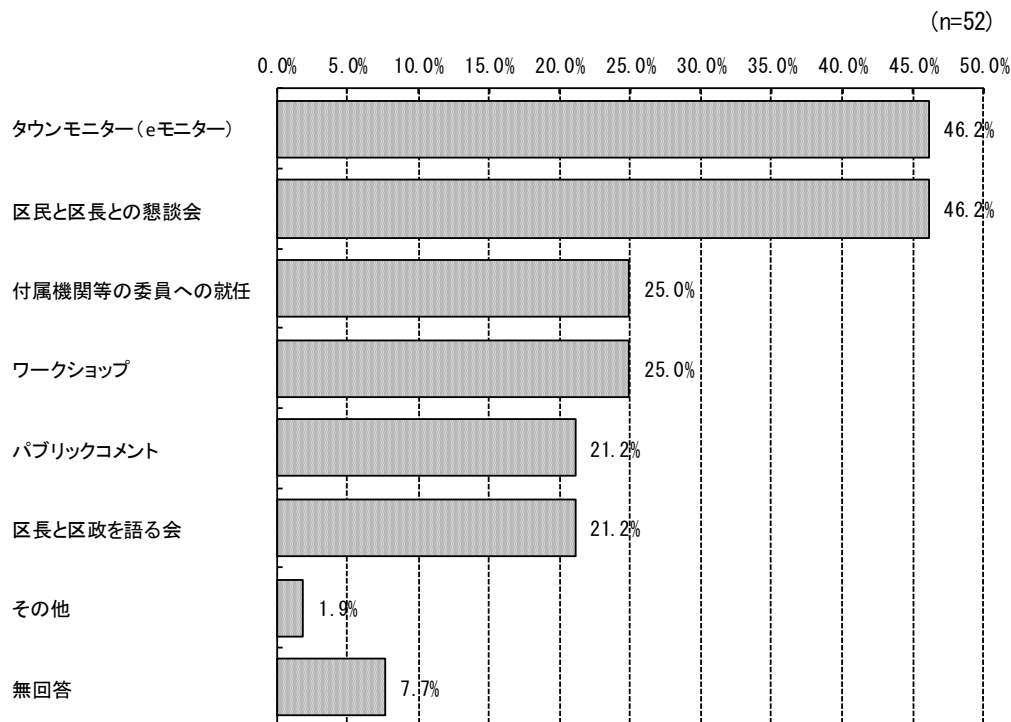
「条件があえば参加したい」との回答に関して、具体的な条件として、休日開催や開催時間、興味のあるテーマ、などについての意見が示された。

図表 3-4 今後の区政への参加意向について



また、「参加したい」または「条件があえば参加したい」と回答した人に今後応募・参加したい方法を尋ねたところ、「タウンモニター(eモニター)」「区民と区長との懇談会」の割合がともに高く、46.2%となっている。次いで「付属機関等の委員への就任」「ワークショップ」が同率で 25.0%となっている。

図表 3-5 今後応募・参加したい方法について



注) 複数回答

